JA福井県

JA福井県を
目一杯＝FULLに
お届け

ふくふる

ふくいで
がんばる生産者

勝山水菜出荷組合 組合長　伊藤 佐一郎さん[右]・直孝さん[左]

SNS・cookpadで旬な情報を投稿しています。

Instagram

Facebook

cookpad

No.013
2021.05

理事会報告　●とき/令和3年3月25日(木)●ところ/本店9階 大ホール

◆附議事項◆

第1号議案 第三者委員会の設置について
第2号議案 令和3年度事業計画について
第3号議案 令和3年度内部監査計画について
第4号議案 令和3年度コンプライアンスプログラムについて
第5号議案 債権の償却について
第6号議案 令和2年度信用債権の貸倒償却について
第7号議案 役員賠償責任保険への加入について
第8号議案 職制規程（職務権限表）の一部変更について
第9号議案 給与規程および職能資格規程の一部変更について
第10号議案 就業規則の一部変更について
第11号議案 文書管理規程の一部変更について
第12号議案 介護保険制度改正に伴う運営規程の一部変更について
第13号議案 定款の一部変更について
第14号議案 簡易郵便局事業の廃止について
第15号議案 共済規程の一部変更について
第16号議案 令和2年産飼料用米の最終精算について
第17号議案 令和3年産の出荷契約について
第18号議案 株式取得（iza）について
第19号議案 令和3年度借入金の最高限度額について
第20号議案 令和3年度貸付金の利率の最高限度について
第21号議案 令和3年度余裕金運用方針について
第22号議案 令和3年度金融機関に対する資金の貸付条件について
第23号議案 令和2年度リスク評価書について

上記附議事項は可決承認されました。

監事会報告　●とき/令和3年3月5日(金)　●ところ/本店3階 会議室及び各基幹支店（テレビ会議室）

◆協議事項◆

第1号議案　12月末資産自己査定監事監査の結果について

上記協議事項は可決承認されました。

監事会報告　●とき/令和3年3月25日(木)●ところ/本店3階 会議室

◆協議事項◆

第1号議案　決算資産自己査定監事監査について
第2号議案　決算監事監査について

上記協議事項は可決承認されました。

ふくふる

Contents

No.013　2021.05

02 ふくいでがんばる生産者
勝山水菜出荷組合 組合長
伊藤佐一郎さん・直孝さん
04 今月のトピックス
05 令和3年度新採用職員紹介
06 健康ライフ
07 福井県からのお知らせ
08 地域探訪
若狭基幹支店
「若狭ふれあい市場」小浜店
10 家庭菜園・今月のレシピ
11 ふくメール・クロスワード

表紙紹介

勝山水菜出荷組合 組合長

伊藤佐一郎さん・直孝さん（親子）

毎年、春を告げる野菜としてマスコミに取り上げられる勝山水菜は、江戸末期から栽培されている伝統野菜です。
降雪の中でも、栽培と収穫に励む伊藤さん親子にお話を伺いました。

ふくいでがんばる生産者

いい水でいい野菜を作りたい 受け継いだ栽培技術が宝です

伝統の種を守る栽培ルールとは

取材に伺うと、伊藤さんは息子さんと親族の方と畑で収穫作業をされていました。先までピンと張った美しい葉が畑に映える水菜を前に「勝山の水がいいから、いい野菜になるんや」と伊藤さんは笑います。

伝統野菜の勝山水菜には、栽培に決まりがあります。水菜の種は伊藤さんが管理し、育苗して苗を組合員に配ります。在来種を守るため組合員以外には種を分けていません。また支柱を立てビニールを覆うトンネル栽培では、1月半ばまでビニールをかぶせないこともルールの一つです。

「水菜を一度雪にあたらせるのがポイント。雪に抑えられてうまみが増す。水菜は寒さに強いから凍っても雪が降っても丈夫なんや」。しかし暑さには弱い野菜なので、温度調整に人一倍気を使います。収穫まで気温をみて雪かきをしたり、ビニールを開けたりと雪深い中でも毎日圃場に出ています。「毎年うまくいくとは限らない、毎日勉強。世話も子どもと同じやでの」と伊藤さんは話します。

後継者の力が次への意欲に

江戸時代末期から勝山水菜を栽培してきたという伊藤家で、伊藤さん自身も先人の作業方法を見て栽培技術を磨いてきました。「肥料をやるタイミング、天候のことなど年寄りの言うことは当たっている。みんながいい品物を作ろう、その熱心さあって今がある」としみじみ。ただ近年の気象変動で「昔は9月の祭りが種まきの目安だったのが、温暖化でそうもいかなくなってきた。暑さは水菜が嫌がるで、病気にならんように慎重に」と話します。

現在は後継者となる息子の直孝さんが頼もしい存在です。直孝さんは早朝からの収穫作業も苦にせず「農業はやってみると面白い。やり方次第では儲かるだろう」と話し、多品種少量生産でどの野菜が適しているか探っています。「ハウスを立てて新しいことに挑戦したいな」と親子で意気込みを話し合う姿がありました。

栽培継続には価格の安定を

勝山水菜は伝統野菜でありブランド野菜、この地域でしか栽培できない貴重な葉物です。伊藤さんのもとには県外の知人に贈りたい、飲食店で使いたいという注文もあり、通常は福井と奥越の市場を通してスーパーで購入できます。伊藤さんの望みは「価格の安定やね。市場は安易に低価格にせず販売してほしい」。伊藤さんら組合の方はみんなで種を守り、雪の中管理を行い、手作業で収穫して稲わらで結い、美しい状態で出荷しています。いい野菜を食べてほしいから、それを誇りと生きがいとして毎日作業をされていました。

水稲あとに水菜を植えます。連作ができず、5年は空けるため毎年栽培計画が必要です。

自田で育てたコシヒカリの稲わらを天日干しにして長さを整え、一束ずつ結います。

栽培品目：勝山水菜、水稲、サトイモ、イチゴ、スイカ、カブラ、ナンキン、トマト
栽培面積：合計 200a

大納言小豆部会発足！

JA福井県福井基幹支店は、2019年度から本格的に小豆（品種＝丹波大納言小豆）の契約栽培に取り組んでいます。契約栽培による農家所得の向上と、新たな産地づくりを目的に、今年度新たにJA福井県初の部会として、「大納言小豆部会」を設立しました。

4月2日には、全体研修会をJA福井基幹支店で開き、管内の生産者をはじめ、株式会社小田垣商店の担当者、JAの営農指導員・TACなど関係者約35人が参加。

部会長には福井南部支店管内の前田尚之氏、副部会長に福井西部支店管内の佐野弘氏が選ばれました。また、各支店に小豆担当の営農指導員を配置。その中から、小豆栽培の指導リーダーを決め、リーダーを中心に各地域の情報共有や指導技術向上を目指します。

研修会では、JA営農部営農指導課の担当者が部会の活動計画や、小豆の栽培状況を紹介。株式会社小田垣商店の担当者からは、品質・収量向上に向けた栽培管理方法について説明がありました。

今年度、管内での栽培面積は20ヘクタール、出荷数量2万キログラムを目指します。

挨拶する大納言小豆部会の前田尚之部会長

いちほまれせんべい しお味新発売

当JAが合併して1年を迎えた4月1日、1周年を記念し、県のブランド米「いちほまれ」を使った加工品「いちほまれせんべい」のしお味を新発売しました。

昨年、JA合併を記念して販売を始めた加工品「いちほまれせんべい」醤油味に続く第2弾の商品。JA管内にある農産物直売所8カ所で、10000袋限定で販売を予定しています。

1袋110g、378円（税込）で発売中です！

製造は福井市内にある有限会社松村米菓に委託。県内産いちほまれを100%使用し、県内外へブランド米をPRします。いちほまれ本来の味を生かすため、化学調味料は一切使わずに、天然塩だけで味付けしました。少量の油でカラッと手揚げしており、しっかりとした歯ごたえが特徴です。

販売している農産物直売所（2021年4月1日現在）

喜ね舎 愛菜館、もぎたて館、れんげの里、れんげの里Lpa店、きららの丘、ゆりいち、丹生膳野菜、旬・ときめき広場

お問い合わせ先

JA本店 園芸特産部 直売加工課（担当 勝木）
TEL 0776-54-0516

JA あぐラジ

FBCラジオで放送開始！

農畜産物やJAの魅力ある“あぐり”情報をお届けします。

4月より、第2・第4火曜日「良ーいドン!!」の中で放送
(AM10:35~10:50)

聴き逃した方は、1週間以内であれば、スマートフォンやパソコンで聴ける『radiko（ラジコ）』をご利用ください。

令和3年 JA福井県 新採用職員紹介

（一列目）

坂井基幹支店
阪野 恭子
抱負 和顔愛語 和やかな笑顔と相手を思う言葉と振る舞いで人と接していきたい

福井中央支店
百戸 沙亜耶
抱負 一人で悩むことなく相談し完璧にする

福井南部支店
黒川 響
抱負 地元を元気にするイベントを企画する

福井北部支店 西藤島出張所
宮崎 愛
抱負 精一杯頑張る

福井北部支店
宮下 華奈
抱負 お客様に寄り添って頼られるような職員になる

福井基幹支店
橋爪 萌
抱負 笑顔を忘れず、お客様一人ひとりに寄り添って丁寧に対応する！

福井基幹支店
仲保 真依
抱負 人としてあたりまえの事をしっかりやって信頼される人間になる

（二列目）

鯖江西支店
河端 悠旗
抱負 できることはその日のうちに

鯖江北支店
大谷 千里
抱負 自分の言葉に責任を持った行動をする

丹南基幹支店
前澤 玲奈
抱負 思いやりのある職員になる

勝山南支店
平澤 太壱
抱負 地元の方に愛され、信頼される人になる

芦原支店
堀川 りな
抱負 世界平和

丸岡支店
上田 澪奈
抱負 人の役に立てるよう、目標を持ちながら努力を継続する

芦原支店
友廣 大智
抱負 切磋琢磨

金津支店
土橋 一輝
抱負 地元に貢献する

（三列目）

上中支店
笠 弥春
抱負 自分らしく一生懸命頑張る！

みはま支店
為国 蒼太
抱負 社会人としての能力を身につける

敦賀支店
寺田 莉衣
抱負 社会人としての意識をもって行動する

丹生基幹支店
上山 侑那
抱負 相手の立場になって考える

丹生基幹支店
渡辺 恵大
抱負 相互扶助の精神

今立支店
宮下 莉奈
抱負 誰からも頼られる職員になる

鯖江東支店
五十子 玲奈
抱負 常に笑顔な職員でいる

6 安全な水とトイレを世界中に
5 ジェンダー平等を実現しよう
4 質の高い教育をみんなに

HealthLife

健康ライフ Vol.1

JA福井県厚生連
(農業会館診療所)
所長　島田 政則

新型コロナウイルスワクチン

様々な感染対策に取り組んでなお収束の兆しがみえないコロナウイルス感染症･･･新たな対抗手段の1つとしてワクチン接種が始まっています。接種は強制ではありませんが、自分と家族、周囲の人を守るために、効果とリスクを理解したうえで判断しましょう。

期待できる効果

★コロナワクチンの**有効性は95%**
(感染する可能性を95%下げたという意味)

感染症予防効果・発症予防効果
重症化予防効果・集団免疫の効果

※集団免疫は接種した人が増えると、していない人でも発症者が減ってくることで実証されます。

副反応のリスク

◎ワクチンが免疫をつける過程で起きる可能性がある反応。(数日で改善)
接種部位の痛み、発熱、頭痛

◎ワクチンに含まれる成分に対するアレルギー反応(アナフィラキシー)

※接種会場では、万が一の際の対応ができるよう体制を整えています。

お客様へ クルマの購入・車検には 事前に自賠責の加入が必要です

お車のご購入

車検

ご理解の上、ご準備をお願いします

※自賠責共済掛金の立替えは、農協法施行規則 第22条 第3号の「特別利益の提供」に該当するため法律で禁止されています。

JA福井県

農産物持込検査（JAに出荷されない農産物検査）にかかる料金体系について

今般、以下の通りＪＡ福井県統一の料金とさせて頂きますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。
なお、令和3年産農産物検査より実施させていただきます。

≪農産物持込検査における検査手数料外経費料金表および検査手数料額表より≫

種類	量目・単位	持込経費単価 ①　※1	検査手数料単価（参考） ②　※2	お支払い頂く合計料金 ①＋②　※3
もみ	20kg 以下　1包装につき	55円	27.5円	82.5円
玄米	30kg 以下　1包装（紙袋）につき	82.5円	27.5円	110円
小麦	30kg 以下　1包装（紙袋）につき	82.5円	16.5円	99円
大麦	25kg 以下　1包装（紙袋）につき	68.75円	16.5円	85.25円
大豆	30kg 以下　1包装（紙袋）につき	82.5円	22円	104.5円
ソバ	22.5kg 以下　1包装（紙袋）につき	61.87円	22円	83.87円

※1　ばら（フレコン）の単価は1kgあたり2.75円の設定です。
※2　1俵あたり単価、ばら（フレコン）単価は別に設定があります。
※3　農産物種類毎に、それぞれの量目、単位に応じた持込経費単価、検査手数料単価を検査申込数量に乗じた金額で請求させて頂きます。
（小数点以下切捨て）

詐欺（サギ）被害が発生しています！

サギ電話は必ずかかってきます！

いろんな口実の電話でも、用件が
●「お金が必要」「銀行でうそを言ってお金をおろして」と言ってくる
●キャッシュカードの暗証番号を聞いてくる

初めて会う人・話す人にはどんな理由でも絶対に

お金・キャッシュカードは **わたさない！**

カードの暗証番号は **おしえない！**

若狭基幹支店「若狭ふれあい市場」小浜店

若狭の新鮮野菜や特産加工品が並ぶ「若狭ふれあい市場」小浜店。毎日多くの利用者で賑わいを見せています。

小浜市遠敷(おにゅう)にある農産物直売所「若狭ふれあい市場」小浜店。管内にあるJA直営3店舗の中で最大となる129㎡の売り場面積には、旬の農産物や加工品が並んでいます。

小浜店がオープンしたのは2003年6月。おおい町名田庄地区の間伐材を利用した、木の温かみのある建物が特徴的です。嶺南で初めてとなる常設の直売所として、開店当初から多くのお客様にご利用いただき、令和2年度の売上高は約1億3000万円となりました。

現在、直売所の出荷会員数は320人。売り場には毎日穫れたて新鮮な野菜がずらり！7月からはイチジクやブドウ、10月からは若狭白ネギなど季節の旬な野菜がいち早く味わえるのも直売所の醍醐味です。

毎年開催する直売所のイベントでは、野菜や果物の詰め放題やおにぎりふるまいなどで賑わいを見せています。

これからも地域の皆様をはじめ、多くの方に愛される店舗になるよう毎日元気に営業していきます！お近くにこられた際にはぜひ立寄ってみてくださいね。

■「若狭ふれあい市場」小浜店

住所：小浜市遠敷8-8-1
TEL：0770-56-5030
営業時間：9:00～16:00
定休日：年中無休（年末年始除く）
駐車台数：約70台

調味料や
ご飯のお供も
たくさん
揃っています

海産物も豊富

新鮮野菜が毎日たくさん

毎日
賑わっています！

若狭の特産「五徳みそ」を使った加工品の紹介

「若狭ふれあい市場」で購入可能！

さば缶

小浜市は鯖の町として、昔から鯖を好んで食べてきました。さば缶もその一つ。地元の製造メーカーと協力して脂ののった鯖を麹たっぷりの五徳みそで漬け込みました。

ねぎ味噌

特産品の若狭幸福（しあわせ）ねぎをたっぷり使ったおかず味噌。ご飯のお供に、野菜との相性もバツグンなので、夏はBBQの漬けダレとして、冬は田楽味噌にぴったりです。

ごま味噌せんべい

五徳みそを使用した一口サイズのせんべいです。黒ゴマの香ばしい旨味がアクセント!

各種イベントも開催！

地元幼稚園児の
かわいい太鼓演奏

いちほまれおにぎり配布

野菜や果物の詰め放題も毎回好評です！

あなたもチャレンジ

家庭菜園

ゴーヤー 緑のカーテンにも最適

園芸研究家●成松次郎

野菜の中でも、暑いほど生育が旺盛なゴーヤーは特有の苦味が特徴の夏の健康野菜です。苦味の成分はモモルデシンという物質で、胃液の分泌を促し食欲を増進し、栄養成分ではビタミンCが特に多く、カロテンとミネラルも豊富です。

【品種】果実の形状と色で、濃緑色で中長型の「えらぶ」(八江農芸)、短太型の「沖縄あばしゴーヤー」(フタバ種苗)など、白い果実の品種もあります。

【畑の準備】日当たりの良い場所を選び、事前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、植え付けの1週間前には化成肥料(NPK各成分10%)200gと堆肥2kgを全面散布し、よく耕しておき、120cm幅のベッドを作ります。

【苗作り】種の皮は堅く吸水しにくいので、ペンチで傷を付け1晩水に浸して十分吸水させます。高温性で、発芽に25度以上は必要なので、5~6月まきが適します。種まきは、直径9cm程度のポリポットに3粒まき、本葉1~2枚の頃に1本に間引き、本葉3~4枚の頃に植え付けます(図1)。

【植え付け】条間80~90cm、株間80~100cmに植え付けます(図2)。

【支柱立て】つる性なので早めに支柱を立て、これに誘引します。支柱は合掌式に組み、ネットを張れば、つる先が絡まり安定します。初期につるを誘引し、後は放任でもたくさんの果実を収穫できます。コンパクトに育てるには、親づるを4~5枚で摘心し、脇から出る子づるは5~7枚で摘心して孫づるを出させます。なお、生育は大変旺盛なので、日よけ棚作りにも向いています(図3)。

【追肥】果実がなり始めたら、月に1~2回、1株当たり10gくらいの化成肥料を株の周囲に施します。

【収穫】開花後15~20日で、果実の形が完成し、果皮につやが現れるまでに、早めに収穫します。取り遅れると、果実は黄~だいだい色に変色し、完熟するとアケビのように果実が割れ、赤い種が見えてきます。

図1 苗作り

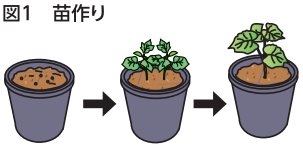


図2 植え付け

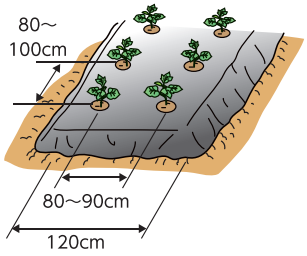
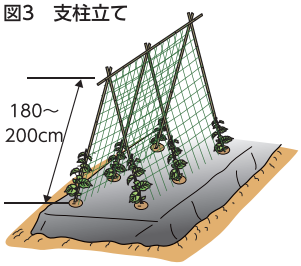


図3 支柱立て



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

今月のレシピ

雪を割って育つ、勝山生まれの春の菜『勝山水菜』。太い茎の甘みがおいしい福井の伝統野菜です。
今回は、ふくいの山と海の幸を天ぷらにし、だし香るお茶漬けにしました。

勝山水菜の天茶

材料 (4人分)

- 米 2合
- 勝山水菜 1/2把(100g)
- 国見えのき 1/3(90g)
- 人参 1/3本(60g)
- 米粉 30g
- 卵 1個
- 甘エビ 12尾
- 米粉 10g
- 揚げ油 適量
- 天つゆ 500cc
- わさび 好みで
- オーブンシート 10cm角×8枚

※今年の勝山水菜の出荷は4月上旬までの予定です。
折菜などで代用できます。

オーブンシートにのせると、ばらつかずきれいに揚がります。

作り方

①米をとぎ、やや固めに炊く。
②揚げ油を180℃に熱する。
③人参はせん切り、水菜とえのきは3cm幅に切り、水菜の茎は斜め薄切りにする。
④水気をしっかり切った③に米粉をふり入れて混ぜ、全体を白くする。
⑤溶き卵を回し入れさっと混ぜる。
⑥オーブンシートに⑤をのせ、油にそっと入れ、固まったら裏返し両面からりと揚げる。シートは適宜取り出す。
⑦甘エビは3尾揃えて、頭と尾を楊枝でとめ、米粉をまぶしてからりと揚げる。
⑧丼にごはんを盛り、かき揚げと甘エビを盛りつけ、わさび、温かい天つゆを添える。

ふくメール 読者からの声

勝山の道の駅にも表紙のようないちご農家が来るのかな？れんげの里は近いので弁当は買います。いろいろあって一つずつ味わっていただいています。ニンキーのたれ、バームクーヘン、玉ねぎバーグ、玉ねぎカレーを紹介してもらって知りました。ぜひ買って食べてみたいと思います。（40代）

去年はさっぱりだったじゃがいも、今年は記事通り頑張って植えてみようと思っています。いくつになっても勉強ですね。物を大切にすることも知りました。毎月楽しみに待っております。（70代）

JAの女性部会のいろいろな活動、みそづくり、料理教室、お花、おひな様、いろいろな人々と楽しく出来たらいいなぁと思います。（60代）

ふくいでがんばる生産者、他県から移住して頑張っている姿に感動しました。（70代）

家庭菜園のミツバの育て方がわかり、この春種まきして育ててみようと思います。（70代）

表紙が爽やかで良かった。記載内容も豊富で楽しく読めました。（60代）

トピックスに各支部の活動の様子が写真と記事でよくわかりました。それぞれの支部の工夫や楽しそうな実のある活動がよくわかり、私たちも頑張ろうと明るい気持ちになった。（70代）

あれだけの大雪が消え春らしくなりました。畑に何を植えようかこのパンフレットを見ながら楽しく菜園したいです。（70代）

兵庫県から移住していちご栽培農家をやっておられる池田さん、すごいなぁと感心しました。こういう若い方がこれからの農業を担っていってくださるといいなぁと思います。表紙も笑顔でいいですね。（70代）

ふくふるを毎月楽しみにしている一人です。地域探訪「れんげの里」以前から行ってみたいところでした。これでいろいろわかり大変参考になりました。ありがとうございました。（70代）

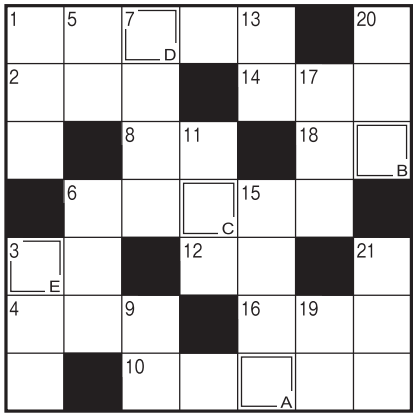
クイズに答えてJA福井県の特産品をゲット!!

読者プレゼント

坂井基幹支店より
メロンちゃん

クイズ正解者の中から
抽選で15名様

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



➡ ヨコのカギ

1 5月の空を泳ぎます
2 ポカポカ陽気の日には脱いで腕に掛ける人も
3 魚の胸や背、尾などのヒラヒラ
4 『トッカータとフーガ』を作曲しました
6 柱や立ち木の間につるして使う寝具
8 トマトの実の食べない部分
10 バラは「愛」や「美」、アヤメなら「朗報」「希望」など
12 ――を買って家を建てた
14 リュックやトランクもこれの一種
16 ゴールまで――5kmです
18 つるべを下ろして水をくみます

⬇ タテのカギ

1 亀が日なたで――干しをしている
3 漢字で書くと雲雀。空高くさえずる野鳥です。あげ――、――笛
5 砕けて石や砂になります
6 突然、風船が――した
7 種、稲、穂に共通の部首
9 5月の第2日曜日は――の日です
11 和服の袖の下に垂れた部分
13 物質の性質や星の動きなどを学びます
15 胴が太いヘビのような形をしているという、幻の生物
17 二輪車のことです
19 奈良や京都のように昔、都が置かれていた場所
20 中国に次いで人口の多い国
21 紳士服――は4階でございます

〈4月号の答え〉レンゲソウ

1ウ	5エ	9ノ	コ	14ウ(E)	18エ	ン
	6ホ	コ		15ソ	ク	
2キ	ン(B)	ギ	12ヨ		19ボ	21ケ
ツ		10リ	レ(A)	16キ		ゴ
3ネ	7ジ		13イ	ン	20ゲ(C)	ン
	8ユ	11ミ		17ト	ン	
4ゴ	ウ	ソ(D)	ツ	キ	ユ	ウ

応募締切 5月20日(木)

応募方法
下記の必要事項をご記入いただき、ハガキまたはEメールにてご応募ください。
①パズルの答え
②郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号
※記入もれが多数あります。必ずご記入ください。
③今月号の感想など

応募先
《ハガキ》
〒910-0005 福井市大手3丁目2番18号
JA福井県　トータルサポート推進課
《メール》
fuku-full@ja-fukuiken.or.jp
QRコードからでもご応募できます→

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※読者の皆様からいただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用しません。

ふくふる
2021.05
No.013

令和３年１月の大雪に関する見舞金についてのお知らせ

令和3年1月の大雪により被害を受けた皆様に深くお見舞い申し上げます。

このことを受け、県JAグループでは、今回の大雪により農業用ハウスの倒壊・半壊による被害に遭われた組合員農家の方々で農業の再生に取り組もうと努力する方を支援するため、見舞金を交付することに致しました。

1.見舞金額　　一律5万円

2.対象

令和3年1月の大雪により農業用ハウスの倒壊被害（全壊・半壊）を受けた組合員農家で、農業の再生産（ハウスの再建）に取り組む者

3.提出書類

①雪害被害復旧促進支援申請書兼請求書
②ハウスの発注書、納品書、請求書、供給伝票（または領収書）
③被害状況が確認出来る写真
④再生産（再建）が確認出来る写真

4.申請期間

①1回目　令和3年6月18日（金）まで
②2回目　令和3年9月17日（金）まで

5.その他

見舞金は申請の翌月に指定の口座に振り込む予定です。

詳しいお問い合わせは、お近くの営農担当部署
または、営農指導員までご相談ください。

【発行】福井県農業協同組合
【編集】総務部トータルサポート推進課
https://www.ja-fukuiken.or.jp/
【TEL】0776-50-7601
【FAX】0776-50-7602
【編集・制作・印刷】ジェイエイプリント㈱ 〒910-0842 福井市開発5丁目204番地
TEL/0776-54-7105　FAX/0776-54-7543
http://www.japrint.co.jp/